

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第23週（令和5年6月5日～令和5年6月11日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

- 第23週は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が9件ありました。腸管出血性大腸菌に感染すると、腹痛、水っぽい下痢及び血便などの症状があらわれます。子どもや高齢者が感染した場合は重症化しやすく、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起こす場合があります。腸管出血性大腸菌は、食肉などに付着し、生肉や加熱不十分な肉を食べること等で感染しますので、肉などを調理する際は十分に加熱（75℃以上で1分以上）し、生肉専用の箸と食べる箸を使い分けましょう。また、患者の便などで汚染された手を介して人から人へも感染するため、調理前、食事前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ([http://www.fihe.s.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](http://www.fihe.s.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	5	248	251	5,535
腸管出血性大腸菌感染症	9	36	77	655
E型肝炎	1	5	7	255
レジオネラ症	3	29	52	628
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	44	24	739
後天性免疫不全症候群	1	23	15	399
梅毒	16	321	234	6,108
破傷風	1	1	1	21
百日咳	2	13	20	311

## ■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,140	5.76	1.36	22,432	4.55
インフルエンザ	210	1.06	0.88	7,483	1.52
RSウイルス感染症	516	4.30	1.35	6,659	2.12
咽頭結膜熱	127	1.06	1.18	1,928	0.61
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	539	4.49	1.05	4,970	1.58
感染性胃腸炎	836	6.97	0.99	20,757	6.61
水痘	17	0.14	1.70	357	0.11
手足口病	121	1.01	1.15	1,494	0.48
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	54	0.02
突発性発しん	50	0.42	0.79	1,065	0.34
ヘルパンギーナ	294	2.45	1.05	5,863	1.87
流行性耳下腺炎	11	0.09	0.73	227	0.07
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	8	0.01
流行性角結膜炎	7	0.27	2.33	226	0.33
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	50	0.10
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。